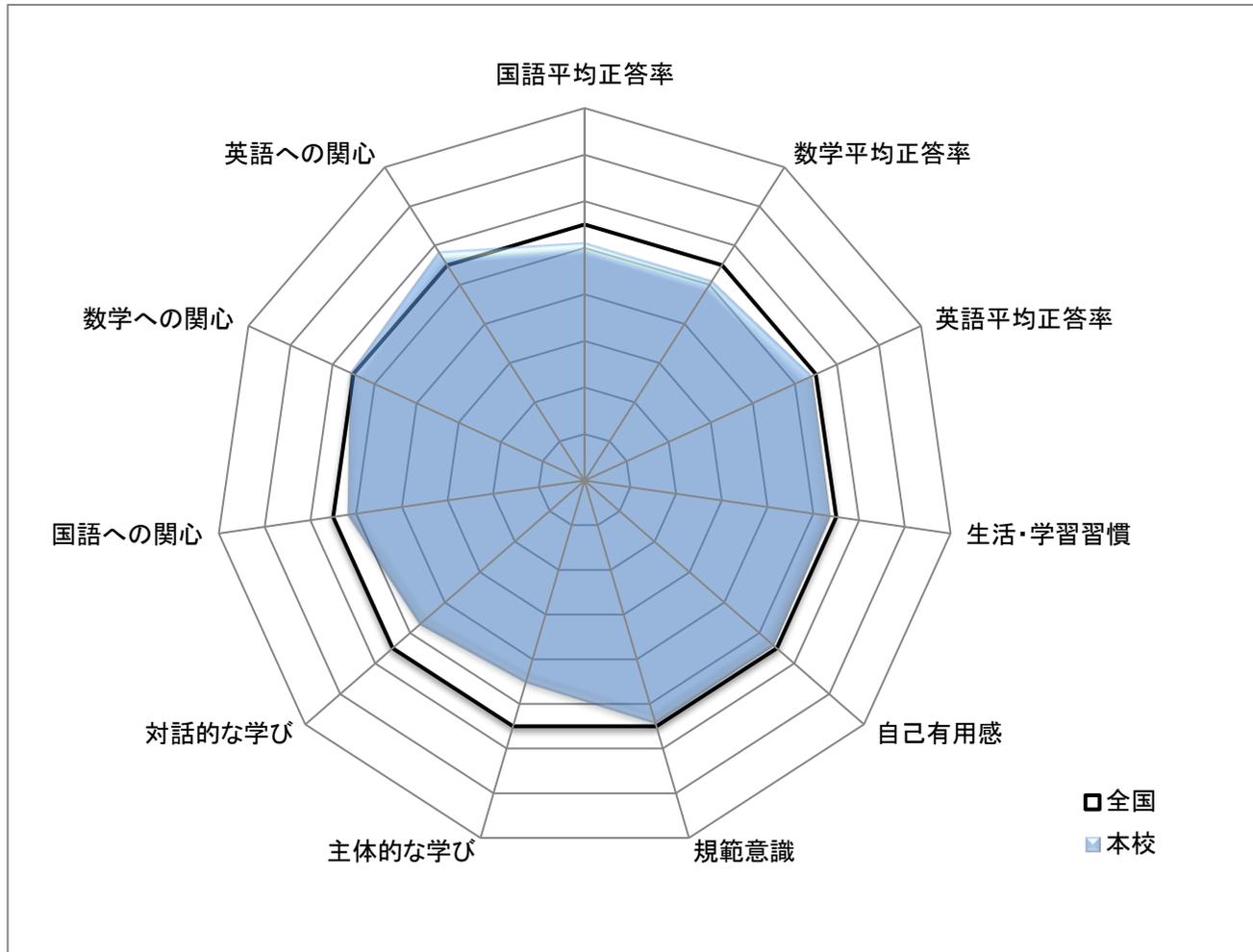


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

規範意識・自己有用感は全国平均とほぼ一致している。多くの生徒が決まりを守って生活し、諸活動に協力して挑戦し達成感を得ているものと考えられる。生活・学習習慣も全国平均とほぼ一致しており、宿題など与えられた課題にはとてもよく取り組んでいる。主体的な学びは全国平均を下回っており、宿題以外に自ら課題を見つけ取り組んでいくという姿勢を作っていく必要があると考えられる。

《授業改善のポイント》

【国語】
国語では、基本的な「知識」の習得を目標にする。各単元の復習を丁寧に行い、漢字の読み書きの定着を図る。発表の力をつけるために主体的・対話的な学びを取り入れていく。

【数学】
習熟度別少人数学習を生かして、基礎クラスは数量や図形の知識・理解の定着に取り組む。応用クラスは主体的・対話的な学びを取り入れ数学的な見方や考え方の定着に取り組む。

【英語】
少人数指導により基礎・基本の定着を図るとともに、自分の考えや意見などを英語で発表できるよう主体的・対話的な学びを取り入れていく。

《チャートの特徴》

規範意識・自己有用感・生活・学習習慣は、全国平均とほぼ一致している。英語や数学への関心は全国平均を超え、国語への関心は全国平均とほぼ一致している。英語の正答率は全国平均とほぼ一致しているが、国語・数学の正答率は全国平均をやや下回っている。対話的な学び・主体的な学びは全国平均を下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

各教科に対する関心は比較的高いので、家庭学習の取り組みとして宿題だけではなく、毎日の復習・予習をさせることによって知識の定着を図っていく。